



国文祭・芸文祭

みやざき2020開催

※7月10日現在の情報です。

国民文化祭記念講演会

町内実施 10月16日(土)

脳科学者・中野信子氏を講師に迎え、「『運』を科学する〜運がいい人の行動パターン」というテーマで講演予定です。

○日時 10月16日(土) 13時30分
○場所 新富町文化会館大ホール
○入場料 無料(要整理券。配布方法は後日お知らせ)

町内実施 宵がたり×新富町民朗読劇 9月5日(日)

2部構成で「語り」の奥深さを感じられる公演です。第1部は新富町民による、10のお話「夢十夜」の朗読劇を行います。第2部は生演奏を交えながら、宵がたりメンバーによる古事記語りです。「地元の中学生からベテランまで参加します。朗読の楽しみを町民の皆さんと分かち合えればと思うので、ぜひ見に来てください」(宵がたりメンバーの前田晶子さん)

○日時 9月5日(日)
第1部 14時開演
第2部 14時50分開演
○場所 新富町文化会館大ホール
○入場料 無料(要整理券。配布方法は後日お知らせ)



開催期間

7月3日(土) ▶ 10月17日(日)

昨年度から延期となっていた「第35回国民文化祭・みやざき2020」と「第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会」が、7月3日(土)より開幕しました。

宮崎県で初めての開催となるこの2つの大会は、「記紀編さん1300年記念事業」の集大成であり、また全国の文化活動に親しむ人や障がいのある人が、発表や交流を行う国内最大規模の文化の祭典でもあります。10月17日(日)までの107日間、県内各地で約140の多彩なプログラムが実施されます。

今回の特集では、新富町内で実施される・町民が関わるプログラムをご紹介します。ぜひ新型コロナウイルス感染症への対策をとりながら、多様な文化に触れてみてください。

さっそく新富町に
スポットが当たりました

7月10日(土) 神楽 フェスティバル

本大会では、宮崎県で育まれてきた4つの文化「記紀・神話・神楽」「宮崎国際音楽祭」「若山牧水」「宮崎の食文化」に焦点(フォーカス)を当てたフォーカスプログラムが用意されています。

7月10日、宮崎市のメディアキット県民文化センターで、最初のフォーカスプログラムとして実施されたのが「神楽フェスティバル」です。県外から招いた天理大学雅楽部の雅楽、江戸の里神楽(松本社中)が披露されたあと、新富町の新田神楽が登場。普段とは異なるステージの上で、吉番舞、岩通し、戸開の3番を見事に舞い、来場者を魅了しました。



県内からは他に西米良村の村所神楽、諸塚村の戸下神楽、日之影町の日之影神楽も披露されました。

私たちも国文祭に 出演します！

大正琴の祭典 10月10日(日)

町内で活動する「琴伝流大正琴座論琴遊会」が、宮崎市内のグループと合同で「大正琴の祭典」に出演します。

大正琴は、ピアノのように鍵盤を押さえながら、ピックで弾いて演奏する琴の一種で、音楽未経験者でも弾きやすいのが特徴。音域の異なるソプラノ、アルト、テナー、ベースを用いた合奏は、深みのある荘厳なハーモニーを生み出します。

○日時 10月10日(日) 10時30分
(琴遊会出演は13時頃)
○場所 宮崎市民文化ホール
○入場料 無料



30代から90代まで参加します。
緊張しますが、みんなて顔をそろえて
演奏できるよう、健康に気をつけながら
練習をがんばります！